

2. 蛍光灯照明設備

1) 材料・器具類

a. 詳細は設計図書による。指示のない場合は下記による。

b. 蛍光灯ランプ

(1) 蛍光灯ランプは、JIS C 76
ク品とする。

(2) 蛍光灯ランプ用グロー
蛍光灯ランプ用グロー
スタータを使用する。

c. 蛍光灯器具

蛍光灯器具は、次の JIS、ま

JIS C 8105
JIS C 8106
JIS C 8112
JIS C 8115
JIS C 8001
JIL 4003
JIL 5004

照明用)) に適合するものとし、JIS マー

蛍光灯ランプ用グロースタータ) に適合す

れたものとする。

ド
具

c. 使用器具類

名 称
天井直付け
吊下げ型
天井半埋込型
天井埋込型

	形状・寸法	備 考

https://www.sekouya.com

2) 施 工

a. 製作図および見本の提出

特記のあるものは、あらかじめ構造および取付け方法を示す製作図を提出し、監理者の承諾を得たのちに製作する。重量の大きなものおよび取付け方法の特殊なものは、必要に応じ、建築図などに基づいて取付け方法の詳細図を監理者に提出し、承諾を受ける。

b. 器具の取付け

- (1) 器具の取付けは、その重量および取付け場所に応じた方法とし、重量の大きいものおよび取付け方法の特殊なものは、あらかじめ取付け詳細図を提出する。
- (2) 重量の大きい天井取付けの照明器具などは、スラブその他構造体に、呼び径 9mm 以上のつりボルトなどで支持し、平座金およびナットを用いて堅固に取り付け、必要ある場合はねじなどにより振止めを施す。また、やむを得ず天井下地に取り付ける場合は必要に応じ補強する。

ただし、家庭用つり下げ開けてよい。ただし、システム

- (3) つりボルトなどによる照

表 - 照明器具の

種
蛍光灯 20W×2
蛍光灯 20W×4

- (4) 壁取付けの器具は、取付ける。
- (5) 木造下地で金属板張りなおよび取付け金具とは電気木造下地するとき、器具は天井裏にはあらかじめ補強
- (6) コンクリートに直接取りサートスタッドなどで固定付ける。
重量の大きい器具は、埋込補強材を設ける。
- (7) 間接照明、コープ照明など器具やランプが直接視野にうに堅固に取り付ける。
- (8) 防水形器具は、取付け場
- (9) 家庭用蛍光灯器具をつり直接張力がかからないように荷重が加わらないように

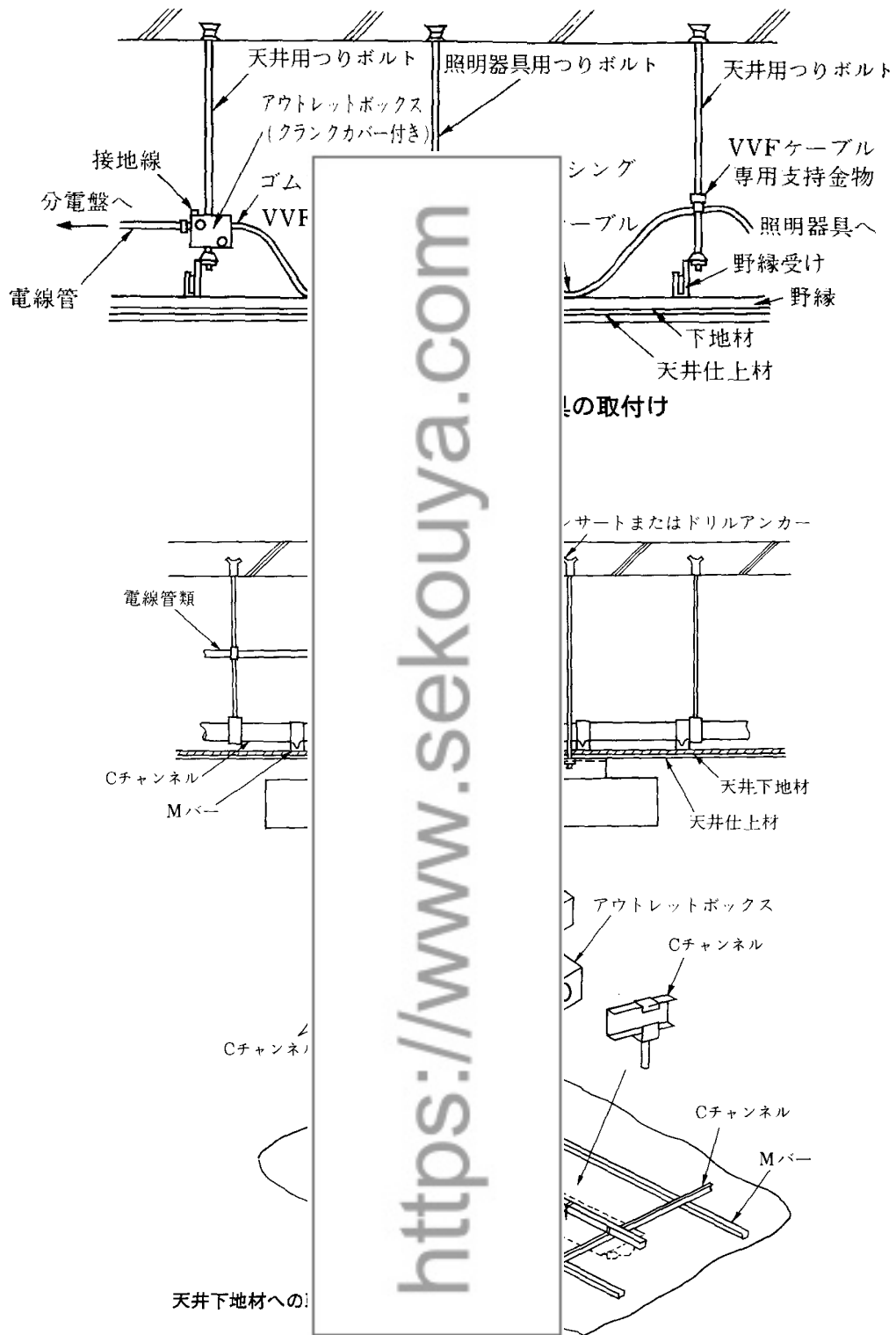
天井用器具などの場合は、野縁に取り付け落下防止装置を具備する。

原則として下表による。

ボルト本数
2 以上
4 以上

- きないようにし、体裁よく堅固に取り付け
- 属部分と取付け箱または器具の金属部分に施設する。
熱を考慮して取り付ける。取付け箇所のにねじ止めまたはボルト締めとする。レットボックスにねじ止めとするかイン合は後づけアンカーなどを使用して取り
どを使用し、必要に応じて取付け場所に
壁の一部に隠して取り付ける場合には、その取替えおよび結線に支障のないよ
適合した方法で取り付ける。
ローゼットなどを使用し、電線接続部に 1kg 以上の場合は、ローゼットの接続部

<https://www.sekouya.com>



c . 器具線の接続

配線と器具の接続は、接続端子によるほか、コネクタ、圧着接続などによる、接続箇所は、器具で押圧されないように注意する。接地を必要とするものは、接地線を接続する。

4) 検査および試験

a. 器具の検査および試験

設計図書によるものとする。

b. 照度測定

照度測定を特記されている場合には、工事完了後、照度測定を行い、その記録を監理者に提出する。

<https://www.sekouya.com>